

かすみがうら市におけるメガソーラー発電事業の開始について

記者各位

当社（社長：一色 誠一）は、2013年10月より、かすみがうら市にある土浦油槽所跡地（住所：茨城県かすみがうら市稲吉2505-5）において、メガソーラー発電事業を開始しますので、お知らせいたします。

当社は、今年度より再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行されたことを踏まえ、自社遊休地を活用したメガソーラー発電事業に積極的に取り組んでおります。今般のかすみがうらメガソーラー発電事業は、土浦油槽所跡地（1998年に閉鎖）に2,000kWの太陽光発電設備を設置するものであり、当社としては、3ヶ所目のメガソーラー発電事業となります。

当社は、総合エネルギー企業として、電力会社向け電力卸供給事業（IPP）や、一般企業向け電力小売事業（新電力（PPS））を展開するとともに、分散型電源の普及に向け、燃料電池エネファームの製造・販売や、住宅および公共・産業向け太陽光発電システムの販売を行っております。今後とも、お客様の求める様々な形のエネルギーを提供する「エネルギー変換企業」として、持続的な社会の実現を目指してまいります。

<かすみがうらメガソーラー発電事業概要>

- (1) 発電出力 2メガワット（2,000kW）
- (2) 設置場所 土浦油槽所跡地（茨城県かすみがうら市） 3.6万㎡
- (3) 送電開始 2013年10月（予定）

【参考】当社の他メガソーラー発電事業

- 1. 仙台製油所メガソーラー発電事業
 - (1) 発電出力 1メガワット（1,000kW）
 - (2) 設置場所 仙台製油所 西地区（宮城県多賀城市） 1.8万㎡
 - (3) 送電開始 2013年2月25日
- 2. 下松事業所メガソーラー発電事業
 - (1) 発電出力 1.8メガワット（1,800kW）
 - (2) 設置場所 下松事業所内（山口県下松市） 2.7万㎡
 - (3) 送電開始 2013年3月下旬（予定）

以上